

病気・障がいを持っている方 そのご家族の方々

秋山峰男と中島茂雄のお話し会

「病気・障がいについて考えてみよう」

秋山峰男さんは点描画の画家さんですが、
今まで自閉症や知的障害の人々と関わり、
一緒に絵を書いたり、アメリカに行ったり
している方です。

秋山さんと障がいを持った方が関わりを
持つとびっくりするような化学反応が
起きてしまいます。そういうエピソードを
うかがいながら改めて、病気や障がいに
ついて考えてみませんか？

日時：H29. 3月12日(日) 14～16時

対象：病気・障がいを持っている方、家族の方々

場所：あさか心のクリニック

定員：14名 参加費：3000円

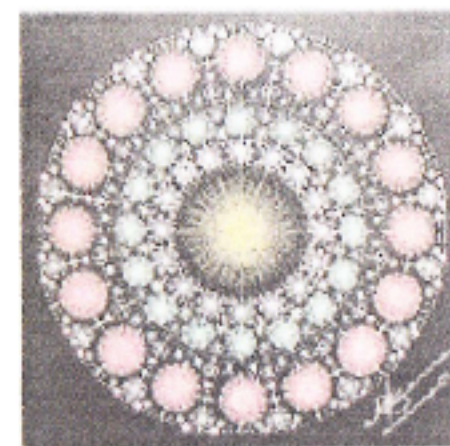
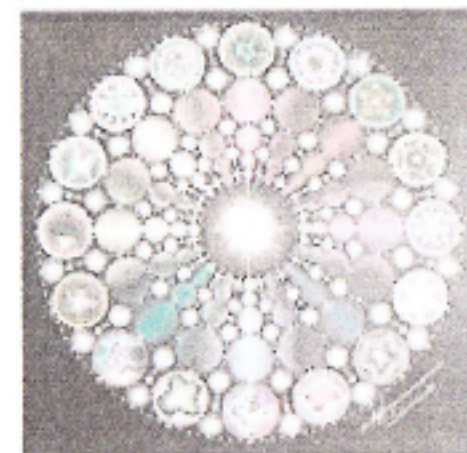
参加ご希望の方は受付まで。048-458-5561

【 秋山峰男 】

1943年8月16日、山梨県韮崎市生まれ。幼少の頃から絵に親しみ、暇さえあれば筆をとっていた。30歳で家具・インテリアの会社を設立し社長をしていたが、1998年ふとしたきっかけからヒーリングアートを描き出す。そして2001年56歳で会社を精算し、全財産を家族に残し、精算にて生じた負債を背負いヒーリングアートを描く旅に出ることにした。

現在、年間300日乞われるままに海外を含め日本各地に赴きヒーリングアートアートを描き続ける旅を続けている。

秋山さんの点描画は黒い紙にボールペンで、インスピレーションのままに1つ1つ点を打つことで描かれる。その絵は自我という制限から解放され、宇宙へと広がり、人々の心に届き共鳴してアート活動と成っている。



【 中島茂雄 】

1965年2月7日、福岡県福岡市生まれ。

あまりに虚弱で敏感だった為、両親は医師になることも、精神科医になることも大反対でしたが、押し切って平成元年から医師となる。案の定、苦勞するが何とかサバイバルし、2012年あさか心のクリニックを開院。病気を治すことも大事だが、その人が本来の生き方をすることを手伝うことが精神科の医療ではないかと感じている。